天明二年

深川拝見

蓬莱山人作　春朗画　全

へ13
1963
48

京都帝国大学図書

富賀川軒見序

落霧人有者。流水四散し。
山椒拐子未変じて。子孫長し。
事城忘れ。巴戎を貫く。
顔を見ん。密如世人
人物。孝雅城稚として。文流の

へ13
1963
48

九むきを好こと。拙の老矢高慢の竟
場長しと。終にむだ銃を撃つ。
戸ハ思塲所に眠ゆ居て。
居穴を探ることと。天に飛
人城をいく。鶏のかしらも行んく。
蝋燭城篝ぐ鬻く時。額に江戸

張場乃川ほど筋を出して。眉に
皺をよすること者も見へ。又氣の荒尾
ほどの賢銃振つく恢に拳も有り
銃ふれるこの人。京乃
いき言氣といつの変人。銃丁に落宅して。
娘は赤き人多拳を泣めんく山吹の

花と咲くみすゝだも。海辺にのゝ
せゝふゝと。梅の乃笑ひ出とゝ笑ひぬ
是婚姻う祭ゝ。神道ゝ
むこのゝどゝ。大ゝ童ゝ三里ゝ足ぬ
黄裏ゝも。東部のゝ嘉来を祝ゝ
せゝ舞ゝゝと。鎌ゝ入ゝ道を渡て

今や舞書紙芸ゝ早ぬ

天明二ゝゝ春

東部ゝ詩の稿ゝ

蓬莱山人帰橋述

山本屋の段

客十歳 母通り[illegible]度きの客まゐる 見長屋帝。[illegible]子さん

[illegible]。[illegible]きのふ来なせへしさぶ。

池中(いけなか)さんと居給へ。腹(はら)を[illegible]

ゆうなせへし。どうぐ[illegible]母ささん

[illegible]の事い給へ。母さよ[illegible]

何[illegible]居。[illegible]屋半屋の定[illegible]

声が高くなるぞ。なんぢ
者ども。そこの者をいつよ。十 扨きたうん。姐
さん方といつしつで。やしをきろくくる
と久しひとんだ。扨くさ作のさんとやぐ
森くまつくさろ。爾ぐづぐめ
ぢやんくさとらへ 函 作のさんくを少あきさ。
めしを喰し 幸し
せんどといふ通りいつもんぢ出くさ。ぐ

わるかつた出さ行くれば左きの事も
なるうすす姐様くいつよ。アノだくらも
こゝ通るよ出みるどん。 出 こんは八ツ事合
ふひぞ。宵扨吉さんが引こんさ時。
作のさんが呼くいつそと扨吉さんの
居ると内なし。出をもうぢ。なのの方こ突
出くれく。今ぢ行くを呼よとそ

かんまつ法まつ行へとうかいこと
きみを行へものさよ。扨めへのかうし出る
ものとと。とのこ手樂 廿九 扨めへまぐがとんな
事をいつ。今よつき出〳〵見せよへ 卅
とと行てんう八幡宮じや。やうんめへし。
裏うこうかんど債ろこさハまちう 卅一 ぢん
ちやーもう むれへさよ 卅二 りへさ行へ 十

うんとこのの 卅三 ぢめどんも扨むりへさ扨行ハ
いりもの通てぐこう行。あとぐゆうりと
むぐこみのどぐ債と。地口をちやうよ行。十三ハ
やうりみこ〳〵出ましよこと。扨ハ良扨ぐよもすめめ白ふて
かけあまこをのこなぐ 十四 きのよ長めこよこ
紙をよここぐ。ちぐひこあこう。どこうする
ほのうぐ。ともこもこくきあ行へう。祭
よ男を行へせ。ちこ。なんのかのとめこぐ

青河画

有りくやうひろ〳〵。梅せんさんと相
談〳〵そんちぐいゝ事に成さゞ
いつぺんとその事ありゝ。扨西ハ梅をゞ
こゝぢやきの印に梅ゞいやあり。上ケ梅乃
樽を清〳〵ぐいつぺんの事ハ伴しさんに
仕まひも苦と考〳〵そくとはき
出をなゝ。月乃出るほどの事とさせて

見せるくらいの人のこゝろ程
の事の出来ぬ程〳〵風と祝〳〵さらぐ
ゆくさんハ〳〵ぐ〳〵ぐ〳〵ぐ

[illegible]れば、[illegible]むすこ[illegible]
め[illegible]ていれば十にきれいかいい
がおもてをえすを[illegible]額をしている三位の
ことをすいこのき十そわぐとどうと
かつてえうりの[illegible]ずかくす三とよ
いかんがうしいまだこうしいあさき
さぞ限ぐきこふ[illegible]そしかうさ

ふくぐどくをあそいきれくこと
時たくと立なさろうぜうぐと使
ぜくらえ[illegible]いけやあ[illegible]あと問さ
いその字祝しいきのふくとさてらぐ
ふくすられ[illegible]でぜひ[illegible]人参[illegible]
と答う。[illegible]十あどこてらく
[illegible]てられ[illegible]といく[illegible]

仕うまつり給へども、年を一日へくらし
うまつり給ひすぐし。扨あへなく亦年を
かさねて、ものいはれたるもの、
みなかくのごとくにて一年まんくん
なせへ。かくひとりごと給ひつゝ、孫を
きつくくんなせへまるさしく物語ひ彩ゆくゆん
十 出 ひとれ、まの乳のどくかるひ

扨うひまつり給ひけれども、まんぐ、金をとらぐへ
二分ばかり、ぐ、ぐ、ぐ

いきすぎさる程。なぐさめあへるその今をと出して
ん程をこれさへ仕うけさうとふのぢのうち
て人程と物のうく居るよいうふたち程人勿
ハきれど。主人乃助やの大病よ一年程人を
へるのぢちりとと。若よハなる程きれど
ちちのきくいうきと。月さんよ。あひうあひ迷と
すくりとあるん。猫がしてうれるかん病を

氣ふいぬのハちてうれ。案まうぐるうう
ぢうん。あうう思くなううと。行のう
是が若分よなるう。人助ま（よ申ま）
まりさ月日よ行うれを。二ろの事が
むまうちつ。今夜の晩てしハかん
みてん程（ちうう酒をこぼして
男ハ行と今と出世で
なひく学ひく

よりやう我でうを有りあひりんどう。りんまつ
ぐちをいつかうで。あぐら。中川尾張屋の四ろくめ
ぐ。弟一番をぐ家ゑ。ろ紙。ろ八ちあ人とん
ちく。ちがで。おりを書くいくられ。去
年のうを書をこうん分らいり。と。まぐさんる
事をこなちが。作ぐさんいをを仕事。
今ハかんてをいりやせん。上そうてまく

年をかき入ナちあ。ろくぐ。ぐ時をすあう
さ。ぐあんてをでせ人。まあ人。質をあしくく
利ゝ付ゑを。ナちあの書入八一儀出ゑ作ば
ぬをやせん。十。作りくかんぐ人ぐ見ぐ
いみく。ぐ。ぐろをなく。ちナあを知てを
ちをうぐ。作ぐうを祭りを仕事ゝ行で
ぐ不実出を右ゑうが見ゑ人去年ゑあく

あるもの（番れ八十あ出しくを程うりう
ほうさいはんくかりごとをきめどしとと十あのうもと
そう和は作うを系一事を有れ今作う作を
ふうもいうれば今を浅
ううと生をんと始りか　ど　どれやどふて
なすんてても。そ今を有り八貫ん程やせん。
十八が　彼を声を　十　今を世ふがいやの八使てう。年を。
今く始を西一年始をうふが始しひう。
さ　年をうをふいの事一やア始りれどを

そうを決ずすうやせん　十　十あ出すを
借ぼぼぐをうれをあんしる事八移へ
をうを作く字のいうをいいやぐ　ら　なる程
ぐく半りいんうを。始へのんをすうを
あへ去年中ぎうづくで。始るんさんよ
りんうく世うを山りう物をけ一やせふ
と左のうをまんれ八かすう不作のとうきのりふあいれ八
をしめてきもを始りれを

十 けさ　ゆきとけそめ　へさと。あつひめ　はなぶさを
ひろ　さ　そ　いろ　れ　く　け　ら　ま　ら　物　う。
十 そ　ど　さ　ど　ぜ　く　つ　く　か　仕　会　さ　ま　せ　い　さ　ん
ふ 十 げ　ん　ん　つ　ま　る　ま　ひ　さ　そ　ん　な　な　仕　ま　ふ
ん　有　ん　と　ま　ま　ま

とむらふ二人とかやの門一入屋風を
引すゑとハりの追ひの植まるうチヤシ 安 ゆめすくらへ
ちやちやん

辰見山楽門ら屋

遠三世ふあ〜ずんバ業すゑ事なれとは。
こゝのぎふ古代乃りんの事今ハ二代め三代めで
作者の連名業書の世話。医御のんハ今く
〜。肩癖中〜りん癖 引中〜物臆〜ら

十四

秀鶴〜ら。赤仲でゝとゆきぬきでとゝそんな
事〜ら〜〜〜〜〜ぬ。九ひ〜〜〜ぬ〜〜〜〜有
中〜と辰己山楽〜〜〜。医ん〜〜〜〜ハ〜〜
人をこゝ〜さ〜。い〜〜〜〜〜。達ひの道を
種〜〜〜。今通人乃會所〜〜〜ぬ
仲の ハんゝ書き友九業 山さんきのよの〜五紙を
見世乃ゆ人ナ仲〜〜〜〜〜

かゝ高く積(つ)み。扨(さて)、とんぢよく勤めます
せんぢ〳〵とごてぎよ砕(くだ)く行(ぎやう)れども。
うまく砕(くだ)けぬ。なかなかとんぢくれてぐらぐ
乃(すな)ちなかなかひきまわるとのよりとくるくるとまわる
久(ひさ)、門口(かどぐち)[久][丈]中(なか)ほどあ(ゆき)つぢ抜(ぬく)いて
高く乾(ほす)。なかまの内ぢ見(みる)ごんぼ
ぐ下(くだ)ハナヂ(はなぢ)ふけく高(たか)なんひと

いまくまつ。ぬかんぢろ〳〵[伊][の][二]ツ[ホ]よ拳
をはじめいろ〳〵[久]たのまハみをとこ
ちの[伊]ぢの[伊]こんきよくさ(ゆき)ぢ。
ぢ手(ぢて)有(ある)事さ[久]抜(ぬく)ハすんぢとぢする
[伊]あいまよ(ゆき)ぢ。はすふ家(いへ)有(ある)かいく
いまくまつ。仕掛(しかけ)と高く高ふくいく。
ぢれといふ(ゆき)といまくまつ。今の内仕(しまつ)

客人有りて、こと葉遣ひする時、こと葉
のまことのごとくにして、実の心とあ
ら食のごとく板を見るあるべし。客ひやうしに
移りて、きくにつけ、きくにつけ、あれどあらぬよ
なるべし。ぶちめんに折敷のすゑりやうを
付くべし。下男は白ちやうめんにて、常はすりこぎに
よりて食べ、箸つかひを減ずること。大略、付

中ごろ極いろ紙に記べし。十四日、きたるべき
客人有りて、ぶちめんにて、
もの客人有りて、ぶちめんにて、
しらに歩りつきを見るべし。却りひやを図
今仕まつりていけさ客人は誰ぞ。二侍ワレハ
歩ちやせん図時ふ正月こよいよ数向が有る
つよかるべし。道市双ちらのを抜
中ごろ見参人 侍山 どれ又在移人に記べ

猴ざし　ハなんぐさ　とうみく　なんでうる

中庸　山形よりうまれて毎年いろ〳〵出る

扇八右者　義しぱ形の人ふるうぬぐ〳〵ぐ〳〵ぐるる　丈あ〳〵なる。

扇琴右者　物ゑ和〳〵ふ〳〵くきまりなり。名物の大酒あり

扇ゑ右者　山形の人よりうまる。かさちいきみ〳〵ぱかが別ゑ〳〵有り

扇ゑ右者　義くし〳〵ぱ辞人ゑ〳〵のようきこ形なり。そでゑ〳〵いつる京ゑ〳〵なり

扇ゑ右者　ゑ和〳〵ゑとあ〳〵。実ふきゑ〳〵後ぱ。ゑ事ぬし。ぱけあ〳〵ゑまとゑ〳〵ふし。

扇ゑ右者　ゑ和〳〵ゑのめ者道有り。和〳〵ふ〳〵ゑきあ〳〵し

扇ゑ右者　尾竹　山形ゑ〳〵ゑ者ふゑ〳〵ゑ〳〵ゑ〳〵

扨ちの巻

扨懸の巻

扨と言巻

扨のん巻

仲 見うしなひ、ちれ〳〵とんさ上ゝいなんだ。

久 上りよ大ふこまりゆ中ゝ〳〵ぐ中ゝ〳〵葉

ぐはす〳〵ぐさ山道中と見ゝ〳〵仕まよとすぐに

こぐふつゝるゝ所しゑんこの長物

夜なきの庫有り。一分半バ人

来〳〵ぐ。ぱけ了はまがれ――〳〵

けいきこまれとと扨わ長きことの

あるこれとと中〳〵ゝ

山ゝ乃人ゝ〳〵ゝ〳〵よゝゝけ生ゝ

見ゝ〳〵ゝちぐひよ〳〵ゝ

元 人扨のてゝ分元公まる

元ムこんな扨ゝ〳〵ゝ居ゝゝ **笠** 扨をかゝ〳〵

元 九角（どんぶりの紙入をいゝ付ケ女

ゝ〳〵ゝ仲のゝん。西の屋の水筆屋よ

腰とうけ〳〵ゝ居ゝ〳〵れ、いきゝ三十迄くの

侍ゝ行屋の新と。行中ゝ出ゝ〳〵と――〳〵

ゆゝ〳〵。行ぐ〳〵新ゝ〳〵み女〳〵れべ十歳さんい

いと御客ぐゝ。仲間へきゝ合てゝいと
か。誰を頼ゝ。ゆゝしくいく
よりぐゝ。頼母りの母さんゝ。ほび母さ
母さまさんが。ぐゝ。今ハ公事の内ぐく
きゝ合の事さゝいひ。アリ客人と云て
行くのゝ。母さんきく。○絵の後
云ひさいひて。人ゝが笑ふと云ゝ。絵ぬ人ゝ人ゝと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

糸りまして

雛迫

作の人まで御用

はら、屋を別に新屋

掛の所ごとく祭りハ

ごとく成りませ〳〵

作

有るめ〳〵といふ。又きハ〳〵作の十八町ハ

道具屋人を毎〳〵渡〳〵半と車を

右用を出し〳〵。十四日ハ

こりもとり〳〵といふ。まごき作

そのごとく作

作 [illegible] 四 [illegible]

と毎年文酒を有り

二人三伝を出す 作 [illegible]

作 [illegible] 屋 [illegible]

作 [illegible]

作 コレ屋敷ハ人の食と

いふ物ハ今日有り〳〵。明日ハ〳〵物さ

事ハ〳〵。天地の万の義理といふものを

仕〳〵ものを。一すぼまんぢ。いろ〳〵

胡椒(こしょう)の粉(こな)を振(ふり)かけ。七八寸(しちはちすん)に成(なる)。石切(いしきり)
乃今(のいま)の。ちりとり鍋(なべ)に入(いれ)て。中(なか)へ入(いれ)て。蓋(ふた)
かぶせひ。弱(よわ)く蓋(ふた)を煮(にる)ること。こゝ
が兼(かね)合(あい)。ぐつぐつと。把(はな)がひく
二度(にど)にまきて。まるめ。ぐつぐつ煮(にる)ば。
なべ。けのこふこ。きの。まぜ。中(なか)きふ
ちく。[illegible]の度(たび)でも煮(にる)ふ。

せちかひ事をすること。毋(なか)へ。すこ
ら。煮(にる)。蕨(わらび)を。煮(にる)ば。あ[illegible]
ひ。一(いち)丸(まる)乃(の)円(まる)。生(なま)。ふの者(もの)。
長(ながさ)。角(かく)に。近(ちか)あるまわこるやうなり。
蕨(わらび)。さんげ。用(もち)。中(なか)。ぐつ。ぐつ。
と。時。とゝ。ゆ。紙(かみ)。きゝ。ずと。煮(にる)。
紙(かみ)なく。つゝ。ぐつ。ぐつ。と。ぐつ。ぐつ。

只生分ちからなく
なる物ちらばれ。見ハ見
毎日あるまんみ雑(ぞう)と。しばらくの間人ぐ
かり。仕ちゝ後人生涯のうれふハ。兼生更ゞ
大病く顔ちゝ也申。骨と肉ちゝ。生涯生更ハ
死ぬきの近(むつかし)ちの通ちゝ永代楽し
月ちゝきをせぬちゝ。世の中と
いのちのハかちゝ物ちゝ後人ち。如きら

ちゝいく気ふなくあること。こうよ
いのちのよもちふ月。雨の岩の客ゞまく。
どんな月ふ盗みをきれ後人。実ハこうしち
まちり方ゞまだちゝ。あしきあるを方をちる 扇 成
かゞ義者の後人ハきりねんぐの生ちまち
ぶ。人ちゝかりなちゝ。府学ちゝ毎なぐくゝ中
者ハかりなぐくきりゝ如容ふ法月よ

拙りまんと世界も廣き明らかなこと世間
者の者と一家と為て者は言葉ません
なんなれば物事をよくこんとこの腹と
世間に生れる方をこれまでなれば
すべきとうの中に有るべき事なり
今のがりんとこの中に有るまんと
こんなに世間だこれは世間すれとを

人の清れと為て清れ来ること生れるも
世間を為て人間をこの世間すべき類似する
世間を為て人間をこの世間すべき類似する
今長いこと世間の事を世間
なれとを為て人間なる 庵 世間をきの人の世間
すべきらんちを考えて世間の事
庵 なれを世間をきの人の世間
世間なる世間 侍 物をもいれを
考えこれを 宴 宴を

と新二郎連れ出て
場とあるようにかくる 【新汁】 侍のさん陣ふ侍も
なぜ〳〵ふ 扨ゆふさんきゝなるんか。今 胡
ぢんゆきに 来るなきろふとゝいふてぶなぶ
いかくを君子二云なりよ 気扨ふよさんハ
【四】 今来なさる 【汁】 まさ〳〵ゆきがぢんぶ。
ゆうと扨ゆすこなたくませ と云て扨ふよさんハ
さへ〳〵せうと ゝゝ 【さ】 新ひいやの扨ゆゝぶ

とゝゝつて来て
侍のハ何ていふれこゝ ゝんぶさゝひてゝぶ
【侍】 いかをゝ侍きぶんが陣ひのさ 【さ】 ハイ是ハ
陣めんなるゝん 【侍】 十義ゝんいかゝ来る 【さ】 ゝゝ
しやうる 【侍】 かくぶさんの事さ 【さ】 二三貫ぶ
良をすると
【侍】 扨ゆふ扨ゝ扨めふれゝゝ有ゝ愛ゝく
ゝん程ゝ 【さ】 何をを 【侍】 きれかふ突出ゝゝん程ゝ
【さ】 なぜゝ 【侍】 この きゝ 【さ】 ゝ扨ぶゝゝめを

[illegible]屋しやの行（ゆく）[illegible]
[illegible]の事を。[illegible]
[illegible]を。[illegible]
[illegible]と。[illegible]
[illegible]
[illegible]
物をきゝ[illegible]
[illegible]。十[illegible]

[illegible]
[illegible]
いくのき[illegible]
[illegible]
事は[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

川く見こう。見て使ぐくと食ふなうくとものを
ぬけうくと愛かよいく出をうくいのうくと
中ぬけぐあれぐ。大うくらくんがぜんを乃
ぬ業ふいいまくく穴がいく川有。屋根板乃
屋ぎ仕巨ハ加屋ヤこと付く書る。家ナ板
ハまくく行ぐ。江ヤの事でそまちうんでくと
ナ屋まくく事の愛男ぐ。こんろ。ぬんがくる

やうくでを。見分物のくうふハまくむう
合巨稱を九年巨宮六生ぐ虫と云物ハ河陽の
ちくうまうどくこのうくの沖中。見ぐふくん
祇中川ぐ。地中ちんと使まくく行くくう
月川ちくんぐと雪ぐ。ぬくくとの付ナハ
ぐくするうまぐ川寒ヤ。のいろはふハ。密ちくん
ぬくく相談ナ。こけぐけ。なんをとう

家(いへ)の業を居ふ仕事を形。店の内ら
を、出業と見て。奉公ぐらをすふけわ
親の家へ行時ハ。祝の仕まひをあゑせく
行事。物をくれ。てんハ。通る客ふハ
手ぐの事こ。そうなすふこ。年てと。
ちやとなくなあしい。ぬかぬる
なる物をくるけ仲町の客ひ。春乃

小神を書て車。月よ入て給ふ成れ。
給と持て行へ。流。月ら仕事に
小神をへる。月世月の月よ祝
かゝ居乃かゝひも。七月十四日よ祝
九月よへ。月の通。童湯ふ小神を
二ツ。おんまり。宝と。ひ年ハ。ひすく
かゝ二ツ。ゑせ。ます。ハ。根ふ。ぐる。ぐ

ムカ山に一ツ出ぬ地もとの中〳〵ゝうつくしひのと
かめもとゝ客人ハ蒙頭よ蒙てハ。何云ふと
ゆゝが有る。人乃見てゝが出来ぬ人ハ敵よいハ
一ツ人ゝ乃ゝとゝ。接面の別業と。ゝ川ゝ
天ゝ中ゝ仕ゝく見てゝ不ゝうとひの対よ虎屋のゝ。
地ゝくゝゝ勝手のゝがゝてゝ。ある〳〵ハ客乃
いゝゝ地ゝゝいゝゝまゝひ世の中ゝ。地ゝゝハ
一ゝゝんの

西ゝ中ゝ生業ハいゝゝみ笑ハ
地ゝ乃ゝいゝゝハ世人〳〵地ゝひ
不ゝ来ゝと云程でハゝ世人せんゝ。沢と一ツ乃ゝ
呼ひゝくゝん行人ゝ。ゝ程ゝ人ゝとゝかしてゝハ
ゝまゝいゝゝゝ乃ゝ。地ゝ人ゝゝ。ゝとゝゝ
ゝ川ゝ来ゝ地ゝ人ゝ乃ゝ行ゝ。見ゝゝ川ゝゝ
う行。ちゝ乃ゝゝ行ゝゝとゝ。ゝ事ゝ乃ゝ川ゝん
ゝゝ乃ゝゝを切ゝゝく仕ゝ人ハ来ゝ人ゝとれく

十歳ばかりの八仕りけるを寺のんどく。面こうれと。
まつ。そこへ仕まひをとゝ形て見うつて
却りけり。蓑どんの悪しんぐ。なるみち
ゆくすと却しく成り。却あへふ仕あへとう
のあとつゞりくゞ却ふいうれるとんぐ。
けりちへ悪しくさうれくハ仕まれ方し切ら
あらぐか祈へちへとゆりしを仕。今とぞ

きうく原つてさなり。却あへの名まへく仕也
を。蓑の内へとかけこうく又十歳ばかも
ゆかと物のかうる人。今時の人ゆが十歳
てと只八仕さへ。却る程うんを清ゆきと
ものとまを見てゆる。ゆと。蓑ゆを見へてゆるとんぐ
いきうかぐいう只とゆくいやうれしい
毎ひくちへ仕すれと。

[illegible]ふいしゝ[illegible]。こゝいかゝハかゞ
乃ゝ[illegible]十ゝ[illegible]ぐく[illegible]ハ[illegible]結ふ十義さんと突出せバ
[illegible]や[illegible]ハ乃其[illegible]と[illegible]ゝ[illegible]事[illegible]ぜ
[illegible]め[illegible]俳[illegible]結[illegible]つ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
度乃まハ[illegible]の一[illegible]ハ裏[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ宵[illegible]ハ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]。度結ふ
[illegible]ゝのふ[illegible]ゝのなんの[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

ゑぶ。侍のさんとつき出し。さ物仲町をり
ゆ！！。拍びと夫ゝゝあふすふ。人の宝の
十あぐく拍きぐ仕まりく行のうめしこまる
なんふといるあぬい。そんるを事をちゝうて。
火あぐりがうすふ物。拍さよいよくつまゝぬ沢
成ゝうゝ拍さよいふゝくふあいといく
ちゝくかゝ今拍ゝうすりゝちゝうりを 侍 小あびを
いゝくゝとゝ（ゝ）ゝ。あゝたしやゝるあゝ。

切ゝく貴ゝく行ふ拍ゝうんぐ。 ロ まゝる
ゝきのんぐゝあゝ。ゝ切ゝゝいゝ。 侍
文を学ゝて拍ゝいゝ。ぐゝしく
ゝぬぐゝんぐあゝ事ゝなゝるゝ。
ゝじハ拍ゝよゝあゝ仕ふ。なゝぐく書ゝる
ゝゝ。 ロ ハゝ我ゝとゝく来ふ。 侍 べゝ
ゝあかすゝのゝ ロ ゝんゝあゝゝ水

かりよ。こゝろ〳〵にくれ仔の八こゝろぶじく
ぶとらぐ〳〵母さよハ来るる 侍 カ〳〵
すりとかゝるの 子 カ〳〵母ゝとゝ〳〵母〳〵のさ。
ものやうゝとゝ。こゝかんげてとはまゝ母〳〵う。
かゝゝこゝんあせ下。十蔵さんと突出〳〵く。
母あ〳〵り顔をこゝく〳〵かゝ。こゝゝと母あ〳〵ゞ
突出せゞ。こゝとゝや母あ〳〵ハ立こゝゝるこゝんこ。
こゝハ彼ぬたゞよすふこゝと 侍 長い月

月不雑ひ今。其二十番目をまつ門ゝ。今も
今と日ゝこゝれこゝハ。母さよハ泣びをきこゝゝ。ゝこゝ
いこゝハせんこゝこゝひ〳〵ゞゆゝり〳〵ゝんづき。髪をきこゝんこ。かゝゞびと
ぬき。九まげの根のこゝ〳〵ゞ。母〳〵湯場ゝこゝ行〳〵お来こゝ。こゝすゝ
切母こゝ〳〵れた。仔の八母さよハ
こゝ〳〵切りはまゝ。こゝすこゝとこゝる浅おつこゝ。こゝとゝきゝこゝと二
こゝ〳〵のこゝ。あこゝ反こゝゝこゝ
かゝ多こゝ〳〵こゝこゝとこゝゝれバ髪ゝま上歳
母計さんをゞこゝこゝん後。ぼゝり 女 母さこゝん
母さよさん。 子 カゝゞ髪を西こゝて。指輪を

[illegible]

[illegible]

墓と二つ付させ[illegible]

[illegible]

[illegible]

なのゝ事あく見せる事こし訓んも事づく
出ぢ。つあくかくれまげを結ふ 計 モツ
ちんとも切ばつ。素人の切つるつのぐさ
結仕出ふ絆の穴それを移ちんづく。扨すこ
りやの中うゝ
きんぐ。なんぎをすれば。うのをとゝくぐさ
ちをいられる 計 扨ちゝ無りまハこゝ海り
ちてゝる。ほゝうゝ海かけ中ちの中の下へ移
き モシ 見ゝ移へふりをすゝ事ハ移く

訓きゝゝる。所ハ世ゝうぐゝ月くゝんる
俳 贅ふハ外ゝゝ。ぱかけくゝ首ゝふ さ
いゝぐハゝこぎく（拵移へる 俳 拵ゝと
いゝ贅をなぜ切つくゝれる さ ぞふつ（バ
かふいつゝ。ゝ。ひぞ。酒ゝんゝ 地稿 八原川 おなじ
いふ事を業ゝ居ゝ居ゝ西（
上絡や。ゝ京の同ぢゝ 上絡や ゝつくゝ
せんとのふなハ 地 せゝ移へ男ぐ。ゝ

撰と切つゝ所色もすさ 上 余日とうさう
まのせんゝゝ。夫切りぐ 彫まぜ ゆかりもり 図 見
で〻〻仕色が付ゝ福へせ 上 ゝまい八後の扁

序 ゝん初ゝ春なゞ〳〵

客乃情無ミ
女郎乃姿 吉原深川遠近新矢 近刻